

004 TICA

題名	著者	コメント	評価
警官の血 ～上下巻～	佐々木譲	昭和23年から話は始まり祖父、父、孫と3代に渡る警官人生を描いた長い作品。これもまたドラマになるらしい。長い話だから半分は端折るんだろうな。その方がわかりやすくもいいのかも。	☆☆☆
しゃぼん玉	乃南アサ	通り魔や強盗傷害を繰り返し、逃避行を続けていた男が、山深い村で老婆と暮らすことになる。その出逢いが卑劣な狂犬の心を変えていく。 <涙なくしては読めない心理サスペンス感動の傑作>をまた涙なしで読んでしまった。	☆☆
時雨みち 闇の歯車	藤沢周平	行間を読めず、余韻を楽しむのが下手なせいかわたたくしすぎている感じがする。	☆☆
まほろ駅前 多田便利軒	三浦しをん	高校の同級生ふたりの便利屋稼業。直木賞受賞作っぽくなくておもしろかった。	☆☆☆
赤めだか	立川談春	ファンの閣下さんならずとも立川談志は魅力的な人だと思う。その弟子の談春の弟子入りからの奮闘記。兄弟子の段々という落語家は、昔一緒にお酒を飲んだことのある人で、もうとっくに廃業したと聞いていたので登場したのには驚いた。	☆☆★
数学的に ありえない	アダム・ ファイアー	これを読もうとした自分がありえない。挫折。	
おそろし	宮部みゆき	宮部みゆきの時代ものなので胸ときめかせて読んだけど、それほどじゃないなあ。。百物語の変型版。	☆☆
君を乗せる舟	宇江佐真理	大好きな髪結い伊三次のシリーズ第六弾。 伊三次が仕えている不破友之進の14才の長男、龍之介が中心になっている話が多くて残念賞でした。 小さくて可愛かった近所の子がいつのまにか大きくなっている淋しさって感じで、これっておばさんの心境だなと思いつつ読んでいたら、あとがきで作者が伊三次を親戚のおばさんのような気持ちでいると書いてあった。 謙虚だ、宇江佐真理。	☆☆★